

認知症高齢者等SOSネットワークの状況について

【北見市認知症高齢者等SOSネットワーク事業の状況】

SOSネットワークは、認知症などにより、外出時に行方不明となった高齢者等を速やかに捜索・保護し、その後の介護等の相談につなげるシステムで、平成23年3月25日から開始しました。

家族などが、北見警察署に捜索依頼の届出の後、北見市のメール配信システムで、同意を得た行方不明高齢者等の情報を配信します。24時間365日対応しています。より迅速な情報提供を、関係機関・市民の方に行うことで、多くの方の協力をいただき、発見につながっています。

		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
警察への捜索依頼件数		39 (1)	49 (2)	22 (1)	【R3.3.2 現在】
SOS ネットワーク利用同意延件数		25 (1)	23 (2)	9 (1)	11 (2)
介護あったか見守り情報 (メール配信)	配信	22	20	8	10
	未配信	3	3	1	1
	登録件数	2,661	2,994	3,365	3,558
地域で保護され警察へ連絡があった件数		36	18	50	

・() 内：死亡発見

・SOS ネットワークの周知：広報きたみ、認知症サポーター養成講座、介護保険事業所説明会他

○令和元年度利用同意者の状況（実9人、延9件、未配信者を含む）

①年齢・性別（実人数）

年齢 \ 性別	男性	女性	計	割合 (%)
65才未満	0	0	0	0.0%
65～69才	0	1	1	11.2%
70～79才	0	4	4	44.4%
80才以上	2	2	4	44.4%
計	2	7	9	100%

②一人当たりの利用回数（年度内において）（実人数）

	1回	2～4回	5～9回	10回以上	計
実人数	9	0	0	0	9
そのうち認知症の方	5	0	0	0	5

③行方不明になった場所（延件数）

自宅	医療機関	共同住宅等	商店等	その他	計
7	0	0	1	1	9

商店等：スーパー ・ その他：ホテル

④移動手段・方法（延件数）

徒歩	自家用車	自転車	バス・タクシー・JR	不明	計
8	1	0	0	0	9

⑤ 発見者 (延件数)

警察	家族	関係者	地域住民	本人からの連絡	未発見	計
7	0	2	0	0	0	9

・関係者：包括職員、消防署職員

⑥ 行方不明になった地域と発見地域 (延件数)

		発見地域								未発見	計
		中央	東部	西部	南部	北部	端野	常呂	留辺蘂		
行方不明になった地域	中央										
	東部	1									1
	西部			1		1			1		3
	南部										
	北部	2				2					4
	端野						1				1
	常呂										
	留辺蘂										
	市外										
	計	3		1		3	1		1		9

・徒歩での移動が大半であるが、行方不明になった近くの場合や数キロ先での発見の場合もあった。

・行方不明になってから時間が経過するほど、遠くに移動している状況であった。

⑦ ケース状況・発見後の支援状況

1) 介護認定状況

○介護認定あり 7人→担当ケアマネを中心に関係者で支援

○介護認定なし 2人→高齢者相談支援センター等が相談支援

*介護認定なし者の状況 ・認知症あり 1人→介護保険申請

(警察情報) ・認知症なし 1人(うち認知症疑いあり0人)

2) 地域ケア個別会議：必要時、関係者によるケース会議を開催し支援について検討

【認知症の普及啓発事業】

○認知症サポーター養成講座 認知症サポーター数：12,956人 (R3.3.2現在)

認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。講座では、認知症の症状、接し方のポイントや相談先等を学びます。初回受講者にはサポーターの証としてオレンジリングを配布します。講座は地域に出向いて実施しています。(町内会、企業、中学校等)*R2年度(R3.3.2現在)サポーター養成講座実施回数21回、新規受講者数290人(新型コロナウイルス感染症の影響で実施回数、新規受講者数ともに大幅に減少している。)

○認知症サポーターのいるお店登録事業 登録店舗：122店舗 (R3.3.2現在)

窓口や店舗等で対応される方の概ね1割以上の方が「認知症サポーター」であるお店を登録し、市のホームページで紹介しています。(ロバ隊長のステッカー配布)

登録店舗の内訳	コンビニ・商店	11	電気・ガス	4	
銀行・郵便局	45	保険代理店	14	不動産業	2
調剤薬局	16	鍼灸院	7	飲食業	1
理美容業	12	小売業	6	その他	4

